



DeCurret

2025年2月19日
株式会社ディーカレット DCP

NEWSLETTER

インボイスチェーン分科会が商取引の標準化を目指したプラットフォームの構築に向け、基本案を取りまとめた報告書を公表 ～商取引とバックオフィスの未来を変える、 アナログ書類や EDI や Peppol との連携を検討～

株式会社ディーカレット DCP（本社：東京都千代田区、代表取締役 会長兼社長執行役員：村林 聡）は、デジタル時代にふさわしい金融インフラを構築し経済・産業の効率化と発展に貢献すべく、様々な企業/団体等と共に、社会課題を解決するデジタル通貨 DCJPY の価値や実用化を検討する「デジタル通貨フォーラム」（以下、本フォーラム）の事務局を務めております。

本フォーラムは、119 の企業・自治体・団体が参加し、社会や業界課題の解決を目指しデジタル通貨の価値や意義を検討する、オールジャパンの取り組みです。

この度、デジタル通貨フォーラムのインボイスチェーン分科会は、業種や EDI 利用有無を問わずインボイスチェーン※1 に取り込むべきデータ項目および標準化の考えを取りまとめた『インボイスチェーン分科会 STEP1 報告書』を作成し 2025 年 2 月 19 日に公表しましたのでお知らせいたします。

（※1 インボイスチェーン：インボイスチェーン分科会が検討している受発注システムから会計システムまでを繋ぐことでシームレスな企業間取引を実現するプラットフォーム）



報告書 URL：https://www.decurret-dcp.com/dc-forum/download/.assets/IC_report202502.pdf



日本における法人企業間決済は、請求・決済・消込・会計のデジタル化サービスにおいて、支払企業と請求企業それぞれの社内業務の効率化に特化したサービスがこれまで発展してきました。現在、企業間の情報交換の効率化のために業界別標準 EDI や Peppol（ペポル）※2 などの規格が整備されてきています。受発注業務に関わる企業間データ交換は大手企業を中心に整備が進んでいますが、受発注業務システムと会計システムは十分な連携ができておらず、債権債務情報等の確認は会計担当者が手動で行わざるを得ない状況です。

システム同士を個別改修で連携するにはコスト過多であり、業界を跨ぐ取引がある昨今では業界を超えた標準化と補完的なシステムが求められています。

このような中、インボイスチェーン分科会では、既存システムの活用を前提とし、精算をはじめとする企業間取引における様々な課題を解決する機能を持つ基盤を作ることで、日本の企業間取引・精算業務の効率的な発展を目指し検討を開始し、その活動結果を日本経済の発展に貢献すべく『インボイスチェーン分科会 STEP1 報告書』を作成しました。

（※2 Peppol：請求書（インボイス）などの電子文書をネットワーク上でやり取りするための「文書仕様」「運用ルール」「ネットワーク」のグローバルな標準仕様）

■報告書の概要

『インボイスチェーン分科会 STEP1 報告書』は、請求・決済・消込・会計において、支払企業と請求企業各社の導入済みの既存システムを活用したまま、また受発注業務システム未利用企業も対象として、社内業務のさらなる効率化を検討するにあたり有用であるとともに、道標となるものです。

報告書では、3点を念頭に検討しました。

1. インボイスチェーンの概要

インボイスチェーンとは何か、またインボイスチェーンの価値について考察し、目指すべき企業間取引の社会実装イメージを整理しました。

2. インボイスチェーンのデータフォーマットの考え方

複数の参加企業の経理部門担当者にヒアリングした内容を元に、EDI 利用企業・EDI 未利用企業の課題に対する解決案やデータフォーマットの考え方・精算トークンの基本案を示しています。

3. 今後の取り組み

全体ロードマップや STEP 1 で抽出した課題等を検討・調査するための STEP 2 における運営体制やチーム編成・チームごとの検討テーマを示しています。

■インボイスチェーン分科会について

インボイスチェーン分科会は、ソフトウェアベンダーや小売・メーカー・卸など様々な業種の 17 の企業・団体が参加する業界横断型の分科会です。サイロ化している各会計サービスや決済サービスの統一規格の検討や、法人企業間決済にかかる課題について、ブロックチェーン技術を活用した業界標準システムの構築および DCJPY による課題解決の可能性を、議論・検討を行うため 2024 年 5 月に発足しました。



DeCurret

インボイスチェーン分科会では、既存システムの活用を前提とし、精算をはじめとする様々な課題を解決する機能を持つ基盤の構築と社会実装に向けたアプローチ方法を検討し、日本の企業間取引と精算業務の効率的な発展を目指します。

参加企業は、大手会計システム・ERP 企業・事業会社に加え、今後も幅広く企業の参加を募ってまいります。

■インボイスチェーン分科会参加企業

-共同幹事会社- (※五十音順)

株式会社オービックビジネスコンサルタント (OBC)

株式会社 日立製作所

株式会社ミロク情報サービス

-参加企業- (※五十音順)

株式会社 IIJ エンジニアリング

株式会社インターネットイニシアティブ

株式会社インテック

株式会社インフォマート

株式会社 NTT データ

花王グループカスタマーマーケティング株式会社

KDDI 株式会社

株式会社サイバーリンクス

つなぐ IT コンソーシアム

株式会社ツルハホールディングス

ファーストアカウントティング株式会社

株式会社プラネット

リーテックス株式会社

-シニアアドバイザー-

株式会社三菱 UFJ 銀行 特別顧問 沖原 隆宗

デジタル通貨フォーラムウェブサイト：<https://www.decurret-dcp.com/dc-forum/>